

論文名 駅供用部での造成工事の安全対策について

執筆者 大河原建設株式会社 池ヶ谷浩史

(1) 工 事 名 平成20年度 島田駅北口駅前広場造成工事

工 事 箇 所 島田市日之出町地内

工 期 着 手 平成20年8月28日

完 成 平成21年3月10日

請 負 代 金 ￥79,107,000- (税込み)

請 負 会 社 大河原建設株式会社 現場代理人 池ヶ谷浩史

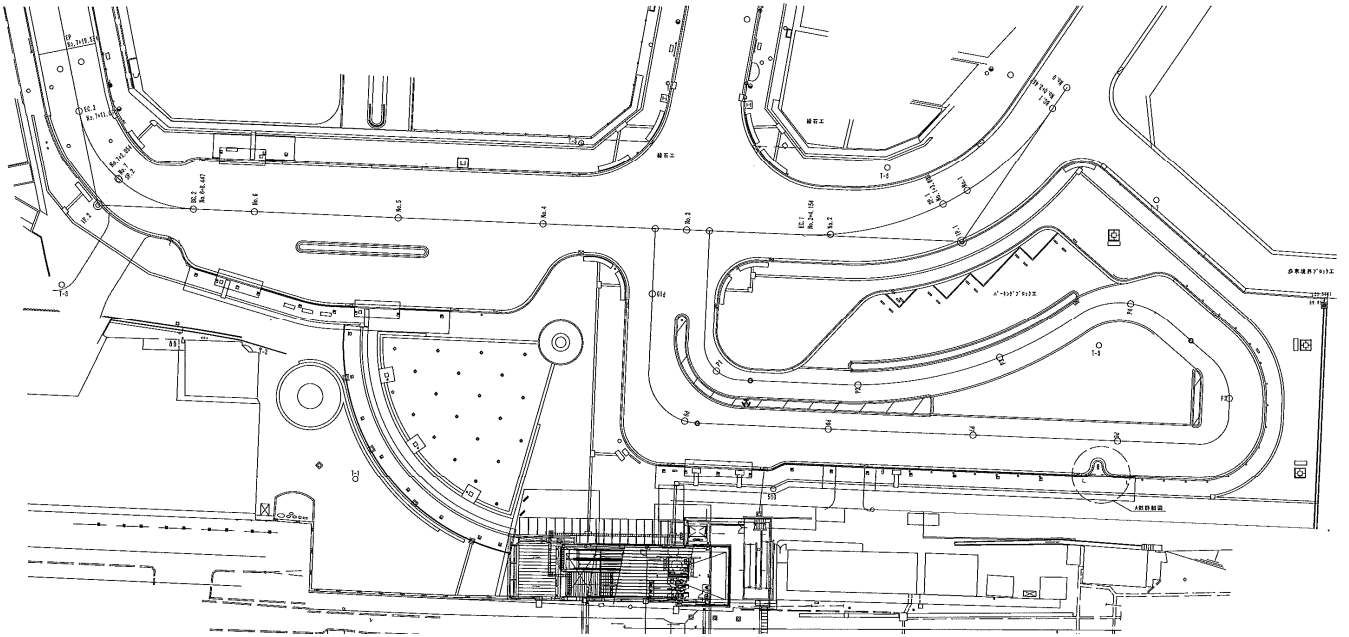
工事内容・目的 本工事は前年度工事の続き工事となり、駅前広場及びロータリーの造成工事を行った。

また各構造物の表面仕上げ(ウッドデッキ・車道舗装・歩道部平板ブロック)の施工は別途発注とされていた。

工 事 内 容

工事区分・工種		種別・細別	単位	数量
道路土工	バックホウ掘削積込		m ³	1,600.0
	バックホウ床掘		m ³	70.0
	埋戻工		m ³	40.0
	盛土工		m ³	30.0
	残土運搬工		m ³	1,500.0
排水構造物工	L型側溝工		m	23.3
	都市型管渠側溝工	呼び径300(グレーチング付)	m	105.4
	U型側溝工	PU1-B300-H300 歩道用	m	37.4
	街渠柵工	300*400 バリアフリー型	箇所	1.0
	管渠型側溝用柵工	管渠型側溝300A対応型	基	5.0
	集水柵	400*400*550~500*500*600	箇所	10.0
道路安全施設工	横断防止柵	H800 3段ビーム	m	83.0
	横断防止柵	縦格子 H800 特注色	m	45.0
	車両用防護柵工	標準部 景観タイプ Gp-Bp-2B	m	27.0
	ポラード工	φ200*H1100 御影石	基	24.0
道路付属施設等工	分離帯・境界ブロック等工	分離帯工	m	211.0
	縁石工	擬石コンクリート製 12*12*60cm	m	41.0
	乗入境界ブロック工		m	90.0
	パーキングブロック工		箇所	10.0
	植樹柵工	[1500 擬石コンクリート	箇所	2.0
	石張階段工	1段部	m	29.2
	〃	2段曲線部	m	74.5
	〃	LEVEL 曲線部	m	18.7
	ウッドデッキ基礎工		m ²	367.0
	膜シALTER工	上屋B W=3.0m L=38.9m	式	1.0
	膜シALTER工	上屋C W=3.0m L=84.5m	式	1.0
構造物取壊し工	As舗装取壊し工	運搬・処分含む	m ²	2,240.0

(2) 全体平面図



(3) 施工検討

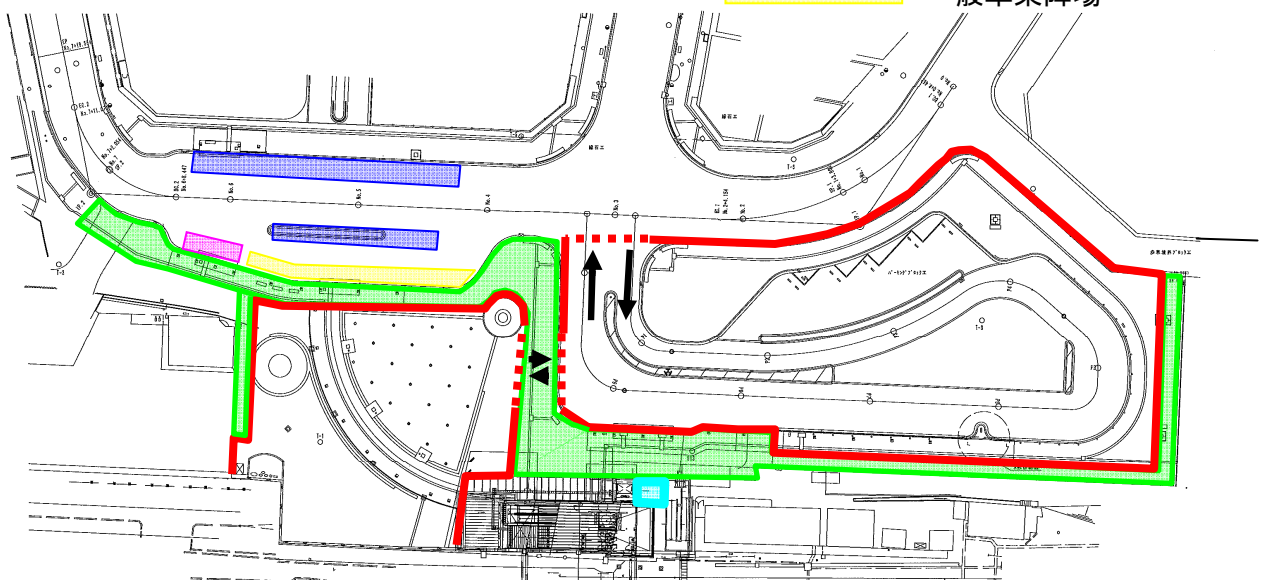
本工事は供用が開始されている中での工事となり、駅利用者の安全確保はもちろんのこと、一般車両・タクシーの停車場所、改札までの安全通路の確保が必要であった為仮囲いを行い、作業エリアと歩行者通路の区分を行う事とした。

仮囲いを行うに当たり島田市の玄関口ともいえる駅前での工事の為、景観的にも見た目の良い仮囲いを行う必要があった。その為フェンスバリケード等の使用をやめ白いメッシュシートを使用して工事の威圧感をおさえると共に、外からも工事の進捗状況が見えるよう設置する事とした。

また景観を良くする為、メッシュシートに島田市に関係ある場所等を紹介した写真付きのシートを作成しイメージアップを図った。

【仮設備計画図】

- 単管支柱H=1.8m
- メッシュシート
- 工事車両出入口
(交通整理人配置)
- 歩行者通路
- タクシー待機場
- タクシー乗降場
- 一般車乗降場



【仮囲い及びイメージアップシート設置状況写真】



【仮囲い設置全景】



【駅前通り線側】



【駅側歩行者通路】

(4) 施工結果

仮囲いをメッシュシートで囲うことにより外からでも現場内の様子がわかる様にし、作業員にも周囲からの視線を常に意識させ、場内での整理整頓等や安全作業の徹底など、意識の向上を図ることができた。

供用開始されている中での工事であったが、上記仮囲いを行う事により工事完了までの間、駅利用者の通路及び安全を確実に確保することができた。

又、必要に応じて歩行者通路の切替及びタクシー・一般車両の駐車場所の変更についても発注者及び関係者と打合せを行い、事前に看板及びチラシ等で周知する事により、トラブルや苦情もなく工事を完了することができた。

【着工前・完成写真】

